

次世代科学社会応援シンポジウム2020

(主催) 生態工学会 次世代科学社会活性化委員会
(共催) 生態工学会 企画委員会 (生態工学サロン)
(協賛) 日本宇宙生物科学会

開催日: 2020年 6月 27日 土曜日
時間: 10:00-16:10(予定)
場所: オンライン (Web登録後にZoom IDを送付)
参加費無料、ランチミーティングにはお弁当持参

(講演内容)

生命の起源を探る

～小さな生きものが活躍する宇宙生物学～

宇宙生物学の若手からシニアの研究者が挑む最新のテーマと研究者の道を進もうとした経緯などを講演していただきます (ランチミーティング予定)。

大昔から地球に棲む紫外線に強い小さな生き物 ～藍藻の紫外線防御策と宇宙開発～
オン 碧 (筑波大学)

火星生命探査に用いる蛍光顕微鏡の開発と現状
岡田 朋華 (NEC航空宇宙システム・横浜国立大学)

多孔質体中の水分移動と重力
丸尾 裕一 (明治大学大学院・学振)

地球外で生命関連分子ができるか
小松 勇 (アストロバイオロジーセンター)

極域光合成生物の適応戦略とその多様性
小杉 真貴子 (アストロバイオロジーセンター)

小さな宇宙飛行士・線虫の冒険
東谷 篤志 (東北大学)

総合討論 (パネルディスカッション)

私たちの生活と宇宙研究～擬似宇宙経験を地球で活かす～

今年はコロナ禍による新たな生活様式と叫ばれますが、宇宙での生活様式はどのようなものなのでしょうか?今回は、擬似宇宙生活を経験した専門家に話題提供をしていただき、ざっくばらんに意見交換・討論していただきます。

宇宙時代の職業、そして基地の暮らし方～模擬ミッション経験を通して～
村上 祐資 (極地建築家 NPO法人フィールドアシスタント 代表)

意見交換・前の討論も含めて総合討論

*参加にはweb登録が必要です。詳しくは事務局メールアドレスまでご連絡ください。

次世代科学社会応援シンポジウム 2020 実行委員会

実行委員長: 加藤浩 (三重大学)

実行委員: オン碧 (筑波大学)・鶴田未来 (筑波大学)・木村駿太 (東京大学)・木村靖子 (十文字学園女子大学)・篠原正典 (帝京科学大学)・横谷香織 (筑波大学)

【次世代科学社会応援シンポジウムは2018年より世代を超えて語り合い知り合う場として何もないところから生まれたシンポジウムで、2019年から次世代科学社会活性化委員会が主催しています】

事務局

生態工学会 次世代科学社会活性化委員会 事務担当

加藤 浩 (三重大学 地域イノベーション推進機構 先端科学研究支援センター)

E-mail: katohiro(at)gene.mie-u.ac.jp (at)を@に変えてください。

(謝辞) (一社) ヤンマー資源循環支援機構の研究助成 (事業) を得ています。